

2035ビジョン

(自2025年4月1日 至2036年3月31日)

2025年度事業計画

(自2025年4月1日 至2026年3月31日)



一般社団法人

日本自動車連盟

2035ビジョンおよび2025年度事業計画

I 環境の変化とその対応について

近年、持続可能な社会を目指す価値観が広く認識され、それに基づく取り組みが進行しています。しかし、地域社会では少子高齢化による人口減少、移動手段の不足、交通安全に関する課題などが依然として存在しています。

一方、自動車やモビリティの分野では技術の高度化や多様化が進行しており、自動運転技術や電動化、シェアリングといった技術はこれらの課題に対して新たな解決策となる可能性を秘めています。

このような状況下でこれらの技術が更に発展し、社会に浸透していくことを踏まえ、2035年をターゲットとした長期的な事業方針を策定しました。

JAFには多様なニーズに応えるための柔軟な対応が期待されています。私たちはモビリティの持つ力を信じ、引き出し、地域社会との対話を通じた課題の発見と解決に向けた挑戦を続け、人々のより豊かな日常の実現に貢献します。

II 基本理念

JAFは、安全と安心の支えとなるサービスを提供し、移動価値が高い社会の実現を目指します。

JAFが社会に果たすべき役割すなわち存在意義を整理し、「基本理念」として再構築しました。

JAFの歴史や不変の価値観を「安全と安心の支えとなる」という言葉で示すとともに、自動車が人々の移動の可能性を広げ生活を豊かなものに変えてきた歴史を踏まえ、移動が人々に新たな価値をもたらす様子を「移動価値が高い」と表現しました。

Ⅲ 2035ビジョン（2025年度～2035年度）

多様化した移動手段が社会に浸透する中で、私たちはモビリティの持つ力を最大限に引き出し人々の「より豊かな日常」を支えます。

自動車技術が更に進化し、移動手段が多様化して社会に広がる状況下でのJAFの役割を、「2035ビジョン」として決めました。

私たちは蓄積した技術・知見・信頼・社会とのつながりを活かして地域社会課題の発見と解決に挑戦します。人々が移動しやすい社会の実現を通じ、人が楽しみ、感動し、日々の不安が解消されている「より豊かな日常」を支えます。

重点課題

「2035ビジョン」に立脚し、現時点から取り組むべき重点課題について以下の通り決めました。なお、重点課題については社会環境の変化に合わせて柔軟に変更します。

（1）モビリティの持つ力を最大限に引き出す

自動車の安全と安心を守る存在として蓄積した技術およびリソースを活かし、自動車をはじめとしたモビリティが地域社会課題の解決に最大限貢献できるように活動します。

（2）会員・社会に支持され続けるJAFを目指す

対話を通じて人々が暮らしの中で抱える課題を探索し、自分たちの強みやつながりを活かして解決にむけて挑み、よりよい地域社会の実現に貢献します。

（3）人的資本を活かす組織づくり

JAFの強みが現場で課題解決に挑戦する職員にあることを意識し、人的資本を最大限に活かすことができるよう組織づくりに取り組みます。

IV 2025年度事業計画

1 モビリティの持つ力を最大限に引き出す

(1) ロードサービスの体験価値向上

- ・ 新たなモビリティ・技術（BEV・FCEV・小型電動車両等）への対応拡充
- ・ トラブル解決スピード向上への取組
- ・ 会員向けイベントを通じたサービス品質のアピール
- ・ 救援要請受付手段の多様化

(2) 交通の安全・安心の追求

- ・ 国・行政等への提言とメディアとの連携による情報発信
- ・ 道路利用者全体を見据えた交通安全啓発
- ・ JAF交通安全トレーニングの推進
- ・ 新たな交通社会を見据えた調査研究

(3) 自動車の楽しさを伝える活動

- ・ 楽しく快適なカーライフを目指した会員サービス・情報の提供
- ・ eモータースポーツの活性化
- ・ 他業種との連携によるモータースポーツの普及促進
- ・ モータースポーツ全般における競技安全性の確保

2 会員・社会に支持され続けるJAFを目指す

(1) 地域社会やモビリティに関する課題発見と共創による解決

- ・ パートナーアライアンスの強化
- ・ モビリティ課題に対するB to B事業の受託推進
- ・ モータースポーツ全般における環境対応の促進
- ・ 地域社会課題に対する行動・ソリューション開発・提案

(2) 会員サービスの満足度向上

- ・ 顧客とのコミュニケーション強化
- ・ 地域ごとの特性を活かした優待・会員向けイベントの実施

(3) 連盟の信頼性確保

- ・ ESG経営の実践
- ・ 内部統制の強化
- ・ 顧客の声をサービス改善に活かす組織の実現

3 人的資本を活かす組織づくり

(1) 人々の安全と安心を守る体制の実現

- ・ ロードサービス職の採用強化
- ・ 交通・作業事故防止への取組強化
- ・ ロードサービスネットワークの強化
- ・ ロードサービス知識の教育充実

(2) 働き手のエンゲージメント向上

- ・ 多様な働き方に対応したワークライフバランス推進
- ・ ボトムアップの組織風土浸透
- ・ 社内コミュニケーションのさらなる活性化
- ・ デジタル・AI活用および業務集約による効率化
- ・ 新たなビジネスアイデアを育む組織の実現
- ・ 健康経営の実践

(3) 人的資本経営の実現

- ・ 採用フローの整備とミスマッチ防止
- ・ 入社後の定着率向上への取り組み
- ・ 組織・部署ビジョンと戦略人事の連携強化

以上